

ホーム > 楽器

ジャパン・ビンテージ・ギター(?) グレードアップ作業

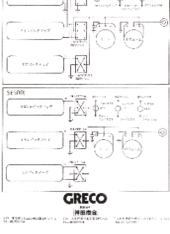
2018/12/28 2021/7/23 楽器 編集



ジャパン・ビンテージ・ギター(?) グレードアップ作業

■ 追加情報です

SEJモデルの回路図を添付します。修理や改造の際のご参考にできれば幸いです。



■ はじめに

今から38年前、大学生になった年に、夏休みに昼の喫茶店と夜のピヤガーデンのバイトでお金を貯め、前橋市内の楽器屋さんで購入したギター。未だに大切に保存&愛用しています。当時の価格で50,000円で、今の物価と比べても、Kanatec的にはかなり高価な買い物でした。



SEJ MODEL GUIDE SHEET



当時、国内のギター関連でのトップブランドのGreco製で、SEJというストラト形状でピックアップのフェーズ切り替えスイッチが付いたJeff Beckモデル（もちらんコピー）です。



保証書もまだ残っており、これによる製造元は富士弦楽器製造（現 フジゲン）、ネックプレートに刻印された製造番号から、製造年は購入の1年前の1979年です。Kanatecの敢断的には、何ら演奏上の問題はない状況ですが、さすがに製造から39年も経過すると、オリジナルのポットもガリっぼくなり、ネットの情報では、当時の日本製のコピーギターは、木工の品質は高いが電装系が弱いとの話もあります。ということで、以前から懸案であった、ピックアップ、ポット配線などの電装系を一気にアップグレードしたいと思います。目標は、「ジャパン・ビンテージ」当時のFender Japan（注1）とします。注1：Fender Japanは、1982年に米国の本家Fenderと富士弦楽器製造の合併で立ち上げられたのが最初。当時は、日本に限らず世界各国でFenderやGibsonの安価なコピーモデルが流通し、本家Fenderの業績に影響を与えていました。（40年経った今でも、ギターのコピーモデルはいくらでもありまね）本家Fenderは、高品質なコピーモデルを製造していた日本の富士弦楽器製造に、USモデルより安価なFender Japanシリーズの製造を富士弦楽器製造に委託し、低価格ゾーンでのラインナップを持つことでコピーモデルへの対応とすることにしたそうです。（有名なコピーモデルメーカーを1つ減らす効果も・・・）ということで、1980年代の富士弦楽器製造のギターは、Fender Japan並みの品質と考えてました。

■ 部品調達

ピックアップ：9,500円

これは絶対に譲れないパーツで、Fender製のピックアップとします。ただし予算が限られてますので、一番安いシリーズのものを、Amazonの最安値で調達しました。

注文内容



ポット：2個で1,400円

経年劣化で、ガリ等の支障の出やすいパーツなので、ちょっと奮発し、CTS製を採用します。調達先は、アキバの千石電商で1個700円、ストラト用の定番である250KオームのAカブとしました。ストラト用のポット購入の際の重要なポイントは軸部分の長さで、ピックアップの薄板に取り付けるので、軸長の短い方を購入する必要があります。（軸長の長い方は、厚みのある木製のボディに取り付けるレスポール等向けなので注意！）

キャパシター：ストックパーツを使うので0円

元々付いているキャパシターは、緑色のクロレツ風=マイラーコンデンサーです。アキバで買うと数100円の超安値なものが、これを千タターの同回路の定番品であるオレンジドロップに交換します。こちらは手持ちのストックパーツを使います。

配線材：ストックパーツを使うので0円

こちらも手持ちのストックパーツを使います。

予想外の出費 ノブ：700円

事前の準備の際、ノブをポットの固定しているネジが錆び付いて固着し、全く回る気配がありません。精密ドライバーのマイナスで回すのですが、最後にはドライバーが壊れてしまいました。幸い2個あるうちの1つは無事だったので、御茶ノ水とアキバを探索し、オリジナルと同じ形状のノブを一個買って来ました。



■ 作業開始

購入当時に付いていた回路図があるので、配線作業には特に心配はありません。一気にバラしに掛かります。



一つだけポイントですが、ストラトのピックアップは、ポール部分が弦により高さが調整してありますが、こちらは新しいFenderのピックアップも、取り付け方向が取説で明確に指示されてますので大丈夫です。作業自体は、さすがFenderのコピー品だけあり、ピックアップの取り付けも、ネジ穴を少々広げるくらいの調整でOKです。ポットもミリ規格からインチ規格に換えたためか、ピックアップ部分を若干リマーで広げましたが、こちらも簡単な作業でした。



片方だけ新品交換したノブも、さび具合は別にしてほぼ同じ形状です。ある意味、40年も同じ形状の部品が片方だけ新品交換していることに感服します。

■ 音出し確認

配線も、今回購入した部品類も、全く問題無しです。ガリもノイズも一切問題無しです。なお、Kanatecの場合、音質がどうなったかということは、一切語る気もそのスキルもありませんので、この点は割愛します。

■ 覚書をいくつか

1) 部品の調達方法

イシバシ楽器、パーツ類の取り扱いを止めたそうです。御茶ノ水エリアだけなのか、全店なのか分かりませぬ。イシバシ楽器以外のお店も、パーツ類の品揃えは今ひとつです。唯一品揃えがよかったのがESPでした。意外だったのは、楽器の街御茶ノ水ではなく、アキバの千石電商（2F）楽器パーツフロアの品揃えはダントツです。通販もやっており、小物（注2）の注文なら「ネコポス」という300円台の送料でOKです。注2：角形A4サイズ以内、厚さ2.5cm以内、重さ1kg以内

2) 楽器の調整方法（Fenderの場合）

今回は、ピックアップ高さの標準値を調べてみましたが、それ以外でのFenderギターの調整時の各設定値が掲載されていますので、DIYでギター修理や調整される方にはとても便利です。（英語サイトです）
<https://support.fender.com/hc/en-us/articles/212774786-How-do-I-set-up-my-Stratocaster-guitar-properly->

kanatec 編集

関連記事

久々に楽器ネタ（Hofnerバイオリンベース）
久々に楽器ネタ ■ はじめに 楽器のブランドや名前には知らなくても、パナー画像の形のベースをご存知の方は多いですね。ご...
記事を読む

24時間マラソン スタート地点探索活動、他
24時間マラソン スタート地点探索活動 ことしの24時間マラソンも、小田原どころか、神奈川県はカスリもなかったようです。み...
記事を読む

3,000円（税抜き）レスポールってどう？
3,000円（税抜き）レスポールってどう？ ■ Hard Offへの定期偵察にて 近所のHard Offへの定期偵察...
記事を読む

← 24時間マラソン スタート地点探索活動、他

→ 第二種電気工事士への道、他

コメントをどうぞ

kanatec としてログインしています。プロフィールを編集します。ログアウトしますか？※が付いている欄は必須項目です

コメントを送信

ブログ内を検索

最近の投稿

- [攝鉄入門 掲載14回目（動画撮影マイクの改善）](#) 2025-01-18
- [箱根駅伝の生搬 23周年記念](#) 2025-01-01
- [小田原周辺の蔵\(2\) 酒匂川の蔵の箱](#) 2024-12-21
- [攝鉄入門 掲載13回目](#) 2024-12-12
- [驚するお猿さん](#) 2024-11-30

最近のコメント

アーカイブ

月を選択

カテゴリー

カテゴリーを選択